

ときめき電鉄から風新聞

新聞制作者 関田梨月

まゆの輸送電車!

上信電鉄は、富岡製糸場で作られた「まゆ」の輸送と下仁田で採れた石炭とコークスの輸送のために、明治二十八年につくられました。当時は上野(こうすけ)鉄道株式会社という社名でした。

今年、富岡製糸場が世界遺産に登録され、上州富岡駅は観光客でにぎわっています。富岡製糸場への玄関口という点を考え、レンガ壁のデザインとした、新しい駅舎(三代目)が二〇一四年三月一八日に完成しました。レンガ積みは、富岡製糸場と同じフランス積みを基本にしながらも、レンガの並びに独特の変化が生じる富岡駅特有のレンガ積みとなっています。

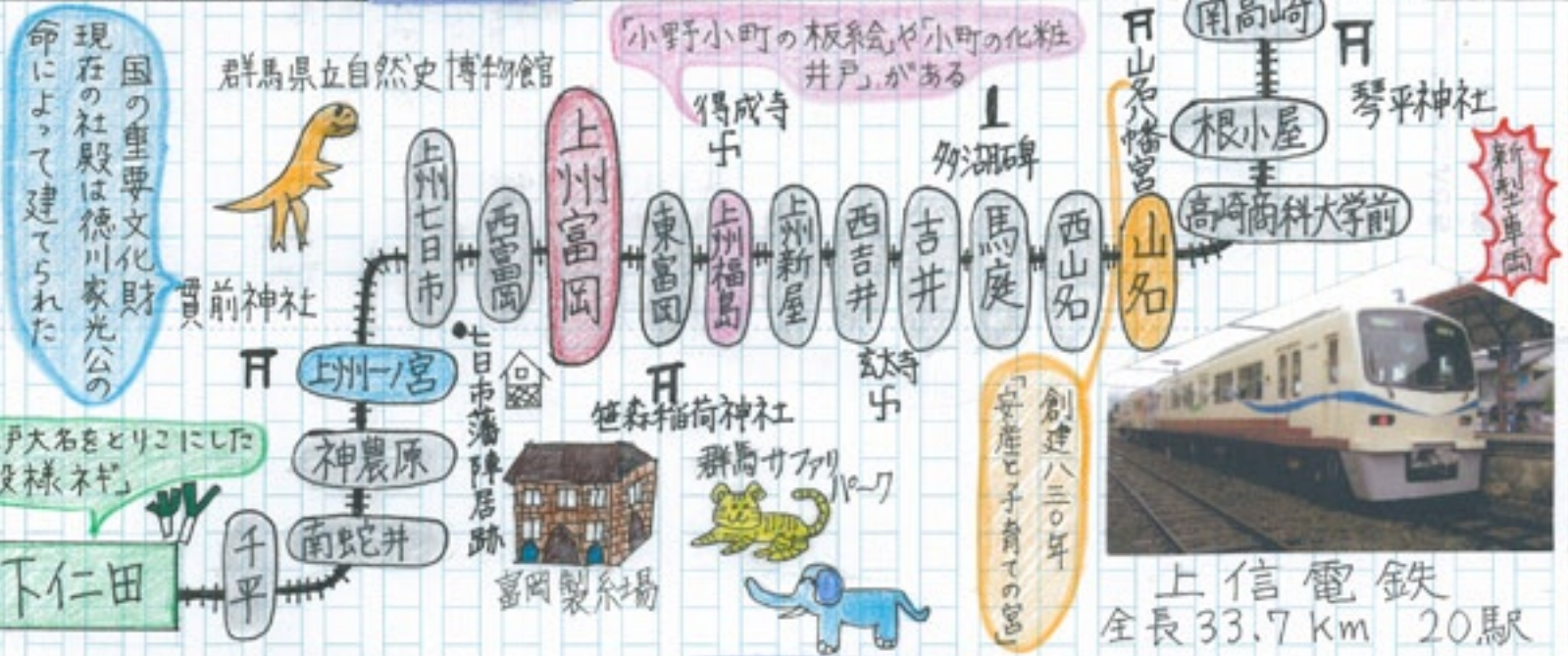
物知り広場

上信電鉄では、自動改札ではなく、切符が販売され、駅員さんがお客さん一人一人の切符を切ります。切符を切る「改札きょうし」は駅によって刃の形がちがうので、切り口を見れば刃の駅から乗車したのがわかるのです。

この夏休みの富岡駅一日平均乗車人員は一〇〇〇人くらい(ふだんは約五〇〇人)。



笑顔がカッコイイ!!
「改札きょうし」をにぎる田村さん



上信電鉄
全長 33.7 km 20 駅

駅員さんの仕事

上州富岡駅では、二名ずつ24時間交代(朝8時から翌朝8時まで)で勤務しています。二人で駅の仕事全て(トイレ清掃も)をこなしています。運転取扱者の山口さんは、主にポイント切替を担当していて、列車が正しくホームに入るよう管理しています。



親切で丁寧な山口さん

祝 世界遺産登録!!

富岡製糸場臨時列車が運行し、富岡駅では、土日には大学生がエ女さん姿でお出迎えをし案内をしています。外国からのお客さんには、タブレット端末でほん訳して対応しています。

編集後記

富岡製糸場が世界遺産に登録され、上州富岡駅はにぎやかひとときを味わえるように感じました。取材に協力して下さった山口さん、田村さん、本当にありがとうございました。